

第 1 回 「おおた生涯学習推進プラン」 推進会議

令和 7 年 8 月 2 2 日（金）

議題（２） 令和５・６年度 「おおた生涯学習推進プラン」 推進会議振返り

開催回	日 程	会 場	主な審議内容
第１回	令和５年７月31日	消費者生活センター	■モデルケースとして検討する施設について ■各施設の概要
第２回	令和５年10月27日	池上文化センター	■施設の現状（文化センターの見学） ■意見交換 ・学び始めたくなる場とは ・学びとつながりの循環が生まれる場とは
区民向け ワーク ショップ	令和５年11月27日	大田区役所本庁舎	■グループワーク ・学び始めたくなる場 ・学びとつながりの循環が生まれる場
第３回	令和６年１月19日	嶺町集会室	■ワークショップ結果報告 ■地域の学びの場のあるべき姿、現状及び課題 ■モデルケースとする各施設の役割 ■意見交換 ・地域の学びの場の役割 ・各施設の役割
区民向け ワーク ショップ	令和６年３月25日	大田区役所本庁舎	■グループワーク ・地域の学びの場のあるべき姿について
第４回	令和６年５月31日	新蒲田区民活動施設	■地域の学びの場の連携イメージ ■意見交換 ・地域の学びの場の基本的な役割 ・各施設での取組案
第５回	令和６年10月30日	消費者生活センター	■意見交換 ・検討報告書素案について ・地域の学びの場の「人」について
第６回	令和７年１月31日	大田区役所本庁舎	■意見交換 ・報告書最終案について ・地域の学びの場に期待すること

1-1 地域の学びの場に関わる課題

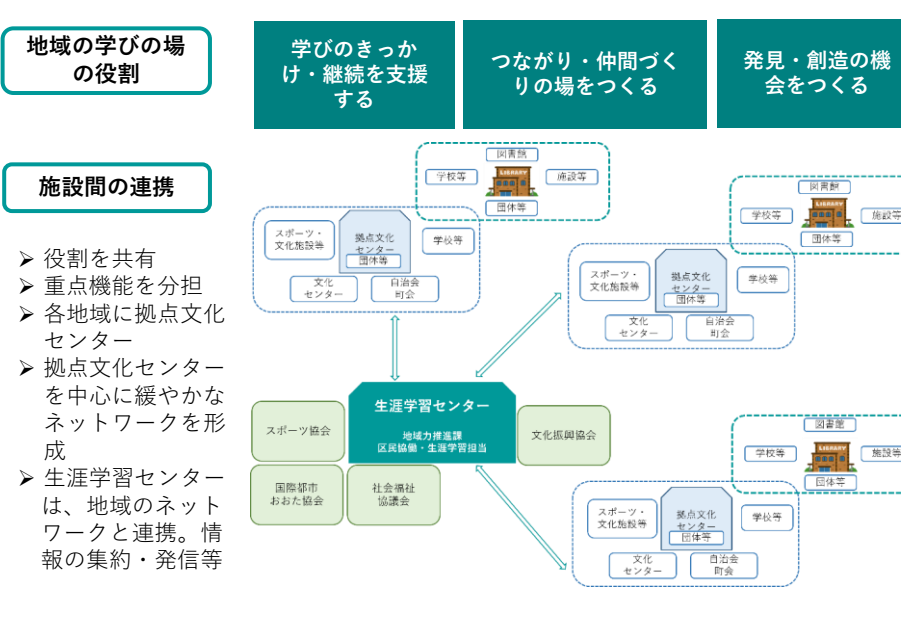
地域の学びの場に関する課題は以下のとおり（「おおた生涯学習推進プラン」）

- (1) 学び始めのサポートが求められている
 - (2) 生涯学習によるつながりづくりが期待されている
 - (3) 身近な学習拠点に関する情報提供とその場を生かしたサポートが求められている
- 区が生涯学習を推進することによる効果として、学びを通じた「つながりづくり」や「地域づくり」が期待されており、地域の学びの場は「学びを通じた地域力の向上」に資する場としてその機能を拡充していく必要がある。

1-2 検討した施設

文化センター	- 区内に11か所 - 施設利用の7割以上が社会教育関係団体 - 活動団体への支援及び新規利用の促進のための機能拡充が必要
図書館	- 区内に16館、大田文化の森情報館、田園調布せせらぎ館図書サービスコーナー - 最も多様な年代の区民に利用されている強みを生かした情報発信やコーディネート等機能拡充が必要
生涯学習センター	- 区内に1か所（消費者生活センター2階 30㎡） - 生涯学習情報の提供のほか、定期的に相談会を実施している - 職員が常駐していないため、随時相談に応じることができない - 区の生涯学習推進のシンボルとしての機能を果たしていない

2-1 地域の学びの場の役割と連携

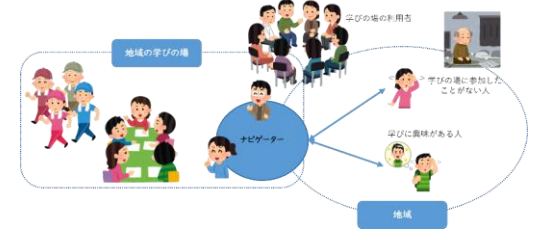


2-2 地域の学びの場の機能

情報	講座	相談・コーディネート	ナビゲーター※の育成・支援	活動の場
----	----	------------	---------------	------

※ナビゲーター
自らも学び、活動しながら、他者を巻き込み、お世話役的に学びの場に参加する人材

ナビゲーターの位置づけイメージ
⇒



3 取組の方向性

文化センター	地域の学びの拠点（活動）～まちのたまり場・日常の学びの拠点～ ➤ 地域に開かれた交流の場として、目的がなくても滞在しつづることができる ➤ あらゆる世代の人々が集い、学び合い、つながることで、地域づくりの主体を形成する ➤ 区民が学びたいことを学ぶ場を提供し、地域の文化や持続的なコミュニティを創造する 学びの裾野を広げるため、これまで文化センターを利用していない区民を想定した事業や空間を展開する
図書館	地域の学びの拠点（情報）～まちの憩いの場・学びの情報拠点～ ➤ 学びと活動の情報拠点として、生活を豊かにするための学びのきっかけを探ることができる ➤ 図書等資料を仲立ちとして人と人とのつながりを育み、必要に応じて地域での活動に誘う
生涯学習センター	おおたの生涯学習推進の拠点 ➤ 区内における生涯学習の機運を醸成する ➤ 区民が身近な地域で学ぶきっかけ・継続を支援する ➤ 生涯学習に関わる人材（職員・サポーター等）を養成する ➤ 区内の生涯学習関連施設の中核として、施設に対する支援、情報の集約・調整を行う

地域の学びの場

学びのきっかけ・継続を支援

学びを通じたつながりを育む

持続可能な
地域づくりの
拠点

将来像

令和22年（2040年）ごろの大田区のあるべき姿として、以下の将来像を掲げた。

心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区

計画期間

令和22年までの16年間
第1期：令和7年～令和14年
第2期：令和15年～令和22年

共通課題

 少子化

 つながりの希薄化

 担い手不足

基本目標

将来像を実現するためのまちの姿として、以下の目標を掲げた。



8年後の大田区

心豊かに日々の生活を送れるまち



機能的な都市づくりが進むまち



デジタル技術を活用した
利便性の高いまち



共通課題



少子化



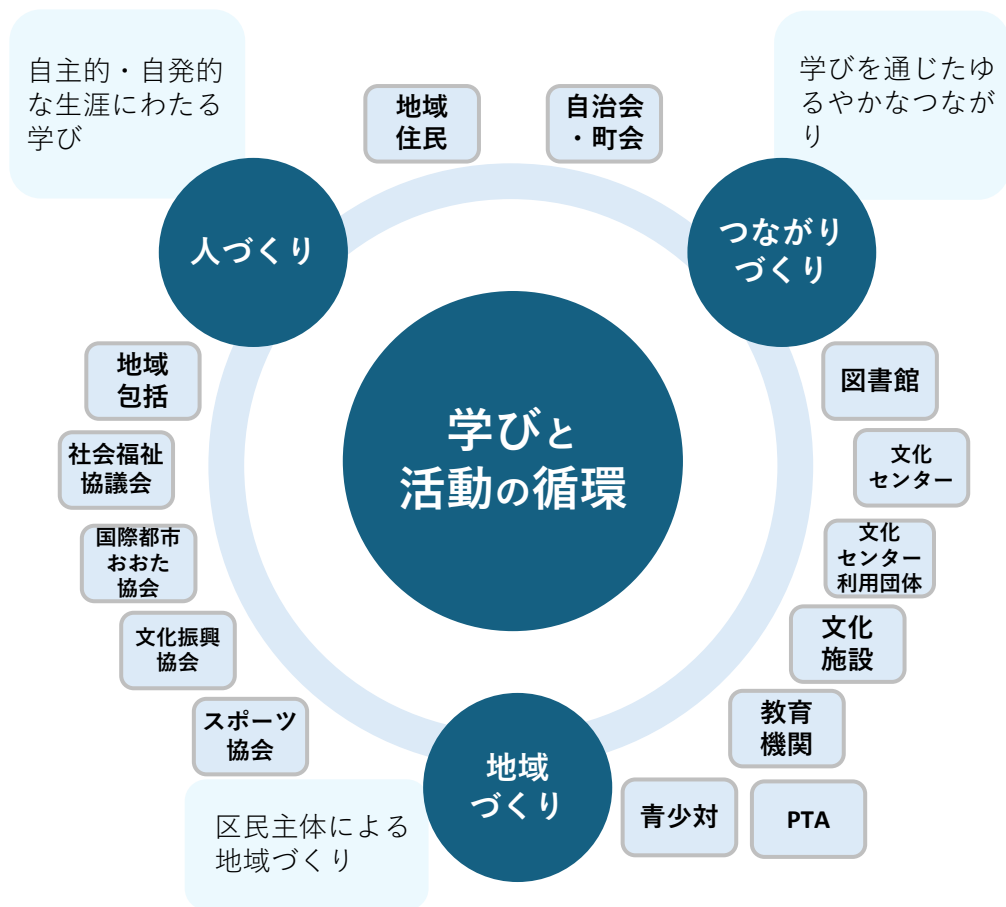
つながりの
希薄化



担い手不足

次期プランにおいて重視する要素

学びと活動の循環の形成～学びを通じた人づくり・つながりづくり・地域づくり～



生きがい
自己実現
地域への愛着
地域課題解決



※身体的・精神的・社会的によい状態にあることで、短期的な幸福のみならず、将来にわたる持続的な幸福を含むもの。また、個人のみならず、地域、社会が持続的によい状態であることを含む包括的な概念。
（「大田区基本計画」より）

議題（3） 次期「おおた生涯学習推進プラン」について

重点的に実施する施策

事業名 ※全て仮称	概 要
地域講座	学びを通じて人や地域とのつながり生み出し、他者につながるきっかけや、住んでいる地域に対する愛着を育むきっかけとなる講座を、地域住民が参加しやすい地域を拠点として実施する。 ・身近な地域課題をテーマとする。 ・地域住民を含む企画員を公募し、地域の学習ニーズを捉える。 ・地域資源や地域の人材を発掘、活用する。
ステップアップ講座	社会教育関係団体を対象に、団体活動のレベルアップを目指し、社会教育や団体活動について改めて学ぶ講座を開催する。
まなびはじめ支援	社会教育関係団体等、地域で学習活動を展開する人材を活用し、区民の学び始めを支援することを目的に、展示や団体の体験会を実施する。
地域ネットワーク会議	学びに関わる関係者が集い、各地域の特性を踏まえ、区民による地域づくりを推進する中間支援組織となることを目指す。
地域学習情報発信	地域の学習・文化・スポーツ施設での実践や、地域サークルについて発信する。

上記の事業を通じて
地域学習コーディネートを実践していく



次期プランの計画期間

大田区基本計画（第１期）の総括を踏まえたものとするため、次期プランの計画期間は7年とする。



議題（４） アンケート調査票の設計

実施目的

区民の日頃の学習活動や地域での活動状況、学びに関わるニーズ、社会教育関係団体等の活動実態等を把握し、今後の区の生涯学習推進にかかる施策検討の基礎資料として活用する。
併せて、この分析結果に基づき、区の特徴や課題を整理し、令和９年度の「おおた生涯学習推進プラン」改定に向けた方向性を検討する。

調査概要

	区民アンケート調査	社会教育関係団体 アンケート調査	団体ヒアリング調査
調査対象	大田区在住の満１８歳以上の男女	区に登録している 社会教育関係団体	日頃から区内で生涯学習を行う団体
抽出方法	住民基本台帳から層化無作為抽出	全数	—
配布数 (ヒアリング数)	3,000名	約2,000団体	約６団体
調査方法	配布：郵送 回答：郵送またはインターネット	配布：郵送 回答：郵送またはインターネット	原則、対面によるヒアリング

設問の方向性

区民向け

- 前回調査時との比較
 - ・ 学ぶことへの関心
 - ・ 生涯学習の実施状況
 - ・ 普段の生活の満足度
 - ・ 区の生涯学習施策
- 前回調査時（令和３年）から深掘り
 - ・ 以下の視点を追加学びを通したつながりづくり、学びの循環

団体向け

- 前回調査時との比較
 - ・ 団体について
 - ・ 活動内容について
 - ・ 区の生涯学習施策
- 前回調査時（令和３年）から深掘り
 - ・ 以下の視点を追加他団体との交流や連携による効果

区民向け

生涯学習の成果について

問2 あなたは、最近1年間で生涯学習を行ったことがありますか。

- 1 ある
- 2 ない

新設 学びの循環の視点から深掘り

問9 問2で「1. ある」を選択した方におうかがいします。
あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を、地域や社会で活かすには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

- 1. 同じ分野に関心のある人との交流の場の充実
- 2. 活動・発表の場の充実
- 3. 講座の開催など、地域や社会で活動するきっかけづくり
- 4. 地域や社会で活動する団体やボランティアに関する情報提供
- 5. ボランティアなどの人材登録制度の充実
- 6. 地域や社会で活動する団体の育成・支援
- 7. その他（ ）

区民向け

区の生涯学習施策について

問16 大田区の生涯学習に関する事業について、ご存じのものはありますか。（○は各1つ）

事業名、概要	知っている、 参加した ことがある	知っているが、 参加した ことはない	知らない
深める・つながる講座（旧：おおた区民大学） 社会、歴史、人権など、様々なテーマについて学ぶ学習の場です。	1	2	3
生涯学習相談会 区内の様々な機関や団体が行う講座・イベント、活動などの情報提供や学びに関する相談を受け付けています。	1	2	3

変更 学びのきっかけの視点から深掘り

問17 問16のいずれかで「2. 知っているが、参加したことはない」を選択した方におうかがいします。

どのような情報やきっかけがあれば、講座などへの参加につながりますか。

（○はいくつでも）

1. 参加者の感想や体験談

2. 講座の内容や対象者のより詳細な説明

3. 学んだ成果の活用例

4. 参加者同士の交流会

5. SNS やメールでの講座情報の定期配信
6. はじめてでも参加しやすい雰囲気

7. 仕事帰りに参加しやすい時間帯の設定

8. 子育て中の方向けの託児サービスの提供

9. オンラインでの開催

10. その他（ ）

団体向け

他団体との交流について

問４ 貴団体は、地域の他団体（他の社会教育関係団体、商店街、企業、学校など）と交流した経験がありますか。

- 1 ある
- 2 ない

新設 学びによるつながりの視点から深掘り

問６ 問４で「１．ある」を選択した方におうかがいします。
他団体と交流・連携したことで、どのようなよい効果を得られましたか。（○はいくつでも）

1. 新しい知識やスキルを習得できた	6. モチベーションや活動意欲が向上した
2. 活動のヒントや改善点を見出せた	7. 人的ネットワークが拡大した
3. 会員やイベントの参加者数が増加した	8. 資源や設備の共有ができるようになった
4. 活動の幅が広がった	9. その他
5. 自分たちの活動を再認識することができた	()

新設 学びによるつながりの視点から深掘り

問７ 問４で「２．ない」を選択した方におうかがいします。
他団体と交流・連携したことがない理由を教えてください。（○はいくつでも）

1. 交流・連携の必要性を感じていない	5. 過去に試みたがうまくいかなかった
2. 交流・連携する機会やきっかけがない	6. 自らの独自性・独立性を保ちたい
3. どのように進めてよいかわからない	7. その他
4. 交流・連携する人手が足りない	()

団体向け

コロナの団体活動への影響について

新 設

問８ 新型コロナウイルス感染症を契機に、貴団体の活動にどのような変化がありましたか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| 1. 活動頻度が増加した | 7. 活動頻度が減少した |
| 2. 参加者数が増加した | 8. 参加者数が減少した |
| 3. 新たな交流・連携が生まれた | 9. 新規会員獲得が難しくなった |
| 4. 新たな視点での活動や取組が生まれた | 10. 活動場所の確保が困難になった |
| 5. オンラインでの活動が増えた | 11. 団体の活動資金が減少した |
| 6. オンラインでの情報発信が増えた | 12. 新型コロナウイルス感染症の影響による変化は特にない |
| | 13. その他（ ） |

問 13 大田区の団体向けの事業などについて、ご存じのものはありますか。(○は各1つ)

事業名、概要	知っていて、 参加した ことがある	知っているが、 参加した ことはない	知らない
<u>生涯学習相談会</u> 区内の様々な機関や団体が行う講座・イベント、活動などの情報提供を行っています。また、学びや団体の運営に関する相談も受付けています。	1	2	3
<u>区民プロデュース講座（旧：区民による区民のための連携講座）</u> 社会教育関係団体が講師になって、多様な学びの機会を提供する講座です。	1	2	3
<u>大田区生涯学習ボランティア制度</u> 自身の知識・技術を地域に役立てたいと考える方のボランティア登録を行います。	1	2	3

問14 問13のいずれかで「2. 知っているが、参加したことはない」を選択した方におうかがいします。

どのような情報やきっかけがあれば、講座などへの参加につながりますか。(〇はいくつでも)

1. 参加者の感想や体験談
2. 講座の内容や対象者のより詳細な説明
3. 学んだ成果の活用例
4. 参加者同士の交流会
5. SNS やメールでの講座情報の定期配信
6. はじめてでも参加しやすい雰囲気
7. 仕事帰りに参加しやすい時間帯の設定
8. 子育て中の方向けの託児サービスの提供
9. オンラインでの開催
10. その他（

時 期（予定）	内 容
令和 7 年 9 月	調査票確定
10月	調査票発送
12月	第 2 回推進会議 ・ 調査結果速報値、分析結果確認 ・ 区における生涯学習の課題
令和 8 年 2 月	第 3 回推進会議 ・ 調査報告書（案）、概要版（案）確認
2 月 （下旬）	調査報告書確定